



特集

友好の森を知ろう、体験しよう

産業課 ☎32-8015 FAX34-4189
 観光協会 産業課内 ☎34-6000 FAX34-4189

市と長野県木曾郡木曾町との交流は、昭和58(1983)年に旧三岳村と交わした友好提携締結が始まり。三岳村の市町村合併により一旦解消したものの平成23(2011)年に再び木曾町と友好提携を締結し、これまで交流を深めてきました。

この木曾町の御嶽山麓にある森林「みよし市友好の森」は、平成3(1991)年5月と平成12(2000)年1月に市が取得しました。これは市の発展の礎となっている愛知用水(木曾川)の水源を保全するのは水源である木曾町だけでなく、恩恵を受けているみよしの役割でもあるといった考えから「地域環境への貢献」「環境教育の向上」を目的に取得したものの。

今回の特集では、私たちに水の恵みをもたらす友好の森や木曾町の魅力をお伝えします。皆さんも木曾町へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



【友好の森の概要】

- ▶所在地 長野県木曾郡木曾町三岳1-11他
- ▶面積 37.8ha (バンテリンドームナゴヤおよそ8個分)
- ▶設備など あずま屋(1棟)、入口案内板(1基)、サイン設置(12カ所)、啓発用看板(2基)、散策路※(6km)
- ▶林状 ヒノキ(樹齢65~80年)、アカマツ(樹齢50年)、針葉樹(混交林)(樹齢65~210年)など、およそ38,000本
- ▶取得年月日 平成3(1991)年5月8日、平成12(2000)年1月24日

※散策路の利用には事前申請が必要です。詳しくは産業課へお問い合わせください。

友好の森から受けている恩恵

●みよしを築く 木曾の水

市は昔から水不足に苦しみ、小河川や100余りのため池からの引き水で、干ばつと闘った先人たちの永い開拓の歴史がありました。こうした水を熱望する農民の願いと知多地域の人々の熱心な運動がきっかけとなり、木曾川水系の水源地を高度に利用する「愛知用水事業」が構想・着手されました。これは愛知・岐阜にまたがる38市町(当時)への農業用水・工業用水・水道水の供給を目的に、わが国最初の国土総合開発事業として実施されたもの。この事業で整備されたのは、牧尾ダム、幹線水路、支線水路、調整池などです。建設にあたっては世界銀行からの金銭的・技術的な援助を受け、わずか5年という短期間のうちに完成されました。



▲愛知用水の水瓶 牧尾ダム

昭和36(1961)年、愛知用水事業の水源地として中心コア型ロックフィルダム(岩石を積み上げてつくる工法)である「牧尾ダム」が完成しました。この年に愛知用水が通水して以来、御嶽山の麓を水源とする「木曾の水」が、みよしへの絶え間ない流れとなりました。この水は農業近代化の促進や工業発展の基礎となり、今日のみよしを築く大きな力となりました。また水の大動脈として中部圏の飛躍的な発展に大きく貢献し、今やこの地域の生活や産業にとってなくてはならないライフラインとなっています。



この年に愛知用水が通水して以来、御嶽山の麓を水源とする「木曾の水」が、みよしへの絶え間ない流れとなりました。この水は農業近代化の促進や工業発展の基礎となり、今日のみよしを築く大きな力となりました。また水の大動脈として中部圏の飛躍的な発展に大きく貢献し、今やこの地域の生活や産業にとってなくてはならないライフラインとなっています。

▶位置

長野県木曾郡王滝村・木曾町三岳

▶総貯水量

75,000,000m³
(バンテリンドームナゴヤおよそ55杯分)

▶有効貯水量

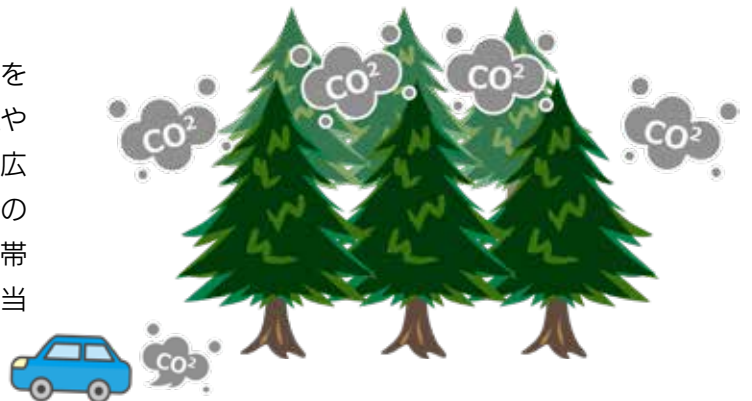
68,000,000m³

▶工事費

97億6,600万円

●森林が守る私たちの空気

森には温室効果ガスである二酸化炭素(CO₂)を吸収する力があります。CO₂の吸収量は樹種や樹齢などにより幅がありますが、およそ37.8haの広さがある友好の森では1年間に139.46~418.38tのCO₂が吸収されています。これはおよそ21~64世帯(6,500kg/世帯)が1年間で排出するCO₂の量に相当します。



友好の森ふれあいツアーが開催されました



友好の森ふれあいツアーは、森林散策や間伐作業などの体験を通して環境保全や森林の大切さを楽しみながら知ってもらおうと、平成15(2003)年度から開催しています。今年は8月27日に開催されたこのツアーに、親子連れなど17人が参加。この日は木曾町、木曾森林組合、木曾森林ふれあい推進センター、長野県木曾地域振興局、御岳^{おんたけ}ロープウェイの皆さんにご協力をいただきました。

バスが友好の森に到着すると、現地指導員の皆さんから参加者にのこぎりとクマよけの鈴が配られました。涼しさを感じながら山道を20分ほど歩いて移動し(①)、5つのグループに分かれて間伐作業を実施。これは余分な樹木を切り倒し間隔を空け、地面まで日差

しが入るようにするためです。子どもたちは慣れないのこぎりを手に(②)、最初に幹から小さな三角の形を切り出し受け口を作ります(③・④)。次に受け口を支点に、皆で協力して押したりロープで引いたりすると(⑤・⑥)、木が一気に倒れます(⑦)。その迫力ある光景を見て、森の中に響き渡る拍手と歓声。木を切った場所には、独特の形の切り株が残ります(⑧)。

間伐作業とともに、樹木へのテープ巻き作業も行いました(⑨)。これはクマが樹液を取るために大きく育った木を傷つけるのを防ぐための作業。

このように森林を守る作業を学習し、普段なかなか体験できないことに挑戦できるこの機会は、子どもたちにとって夏の大きな思い出となりました。

●木曾町の人の思い



▲木曾町三岳支所
みやと ともゆき
宮戸 朋幸さん

森は適切な森林サイクルによりきれいな水を育み、温室効果ガスを削減し、木材となるなどさまざまに活用されます。今後もこのツアーを通じて環境への取り組みに興味をもていただければ幸いです。

●参加者の声



▲長田 彩那さん
おさだ あやな

大きな木が倒れるところが楽しかったです。こうやってバランスよく木を切ることで、森全体を守っているんだなと知りました。

ふれあいクイズのコーナー

【第1問】

友好の森がある長野県は、面積(13,560km²)に対して森林の広さはどのくらいでしょうか？

- A:10%
- B:50%
- C:80%



【第2問】

日本で14番目に高い御嶽山の高さはどのくらいでしょうか？

- A:3,067m
- B:2,439m
- C:1,201m



【第3問】

うろこがつながったような形のこのイラストは、何の木の葉っぱでしょうか？

- A:スギ
- B:ヒノキ
- C:マツ



正解: B 第2問: A 第1問: C

観光協会からのお知らせ

産業フェスタみよしでの出店

11月6日(日)にさんさんの郷で開催される産業フェスタみよし2022に、木曾町が出店します。そばまんじゅうや栗菓子をはじめ、各種お漬物や松茸ご飯などさまざまな特産品が販売されます。皆さんぜひお越しください。



そばまんじゅう

長野県木曾町宿泊施設利用助成

木曾町の宿泊助成券を交付します。多くの人に木曾町に足を運んでいただき、魅力を発見していただけたらと思います。ぜひご利用ください。

施設 木曾町が指定する宿泊施設

※対象施設は事前にホームページで確認してください。

内容 令和5(2023)年2月28日(火)までの宿泊分について、1人1泊につき4,000円分の助成券を発行し、精算時に助成分を宿泊料金から割り引き

※全国旅行支援キャンペーンのみ併用可能です。詳しくは各宿泊施設にお問い合わせください。

※その他条件がありますので、詳しくはホームページをご確認ください。

対象 市内在住・在勤・在学、または代表者が市内在住・在勤・在学の家族やグループ

申込 次のとおり

- ① 宿泊施設に直接予約(必ず事前予約)
- ② 令和5(2023)年2月17日(金)までに観光協会(市役所4階産業課)で申請し、助成券を受領
- ③ 宿泊日当日に、助成券を宿泊施設に提出



ホームページ



まんしょうざんこうぜんじ
▲萬松山興禅寺



なかせんどうふくしまじゆく
▲中山道福島宿